

『ニッソーネットのふくし通信』

Vol.3 2011年2月

介護士さんも
意外と知らない

～介護する側・される側の負担を軽減～ 便利な介護用品 & 最新の介護機器

福祉の人材サービスおよび育成を行う株式会社ニッソーネット(本社:大阪市北区、代表取締役社長 山下 謹吾)は、昨年4月より介護に関する情報をまとめたニュースレター「ニッソーネットのふくし通信」を発信しております。高齢化が進み、介護の需要が高まる中、複雑でわかりにくい各種制度や介護の旬な情報をお届けすることで、介護に関する関心や理解をより深めていただけたらと考えております。

【第3号の内容】 総務省が昨年9月に発表した推計人口によると、総人口に占める65歳以上の割合は23.1%(2944万人)と過去最高を更新しました。介護従事者だけでなく自宅で家族の介護をする方も増え、介護がより身近なものになる一方で、“力任せでやるため腰痛になった”、“時間がなく余裕をもってできない”という悩みを持つ方も多くいるようです。最近では、介護する側・される側の負担を軽減する介護用品が開発され、目的にあったものを効率よく活用することで、両者の負担を減らし安全に介護することができるようになってきました。世界中の最新福祉機器が一堂に介する日本最大の総合展示会「国際福祉機器展」。1974年より毎年開催されていますが、近年は来場者が10万人を超える一大イベントとなり、介護に携わる方の関心の高さが伺えます。

そこで第3号では、ニッソーネットが運営する介護教室「ほっと倶楽部」の人気講師・佐藤康広氏がお勧めする便利な介護用品やちょっと気になる最新の介護機器をご紹介します。

今回の内容に関してのご質問や、業界全体の動向など情報提供のご協力、ご取材のご依頼なども随時承っておりますので、お気軽にお問い合わせいただけると幸いです。

■お勧めの介護用品

1. スライディングシート

ベッド上での移動をしやすくするためのシートで、介護士の間でもあまりまだ知られていません。素材はポリエステルやナイロンなどで、表面を滑りやすくするための特殊加工が施されています。力任せに持ち上げるのではなく、摩擦を利用してわずかな力で横に滑らせることがポイント。垂直方向に人を持ち上げる動きは腰痛の最大の原因になるため、「押す・引く・回転させる」などの水平方向の動きに置き換えることで介護者の負担を軽減させます。

【使用方法】(ベッド上で体が足元に下がってしまった被介護者を、上方に上げる場合)

1. ベッドと体の間に、『スライディングシート』を背中に敷き、踏ん張れるように足に滑り止めを敷く
2. 足が踏ん張れるように足を支える
3. 被介護者の力で上に上がれる(介護者の負担軽減)
⇒最後に『スライディングシート』をスルッと引き抜き、完了



【メリット】

- ・摩擦を利用するため、わずかな力で移動が可能
- ・被介護者の力を活かした介護ができる

2. 高反発マットレス

これまで介護業界では、マットレスは低反発が良いとされてきました。体圧を分散でき褥瘡(じよくそう)*予防にもなると考えられ、一時期はブームにもなりましたが、「通気性が悪く、熱がこもる」「体が沈み、寝返りがしにく

いなどのデメリットがあり、最近では、優れた通気性や介護のしやすさから高反発のものが注目されるようになりました。それぞれメリット・デメリットがありますので、目的に応じて選ぶことが大切です。

※**褥瘡(じょくそう)**…長期間ベッドで寝ている方や車いすを利用している方などに多く見られる、いわゆる“床ずれ”と呼ばれるもので、衣類や寝具によって圧迫を受ける部位に生じます。

(素材)	(メリット)	(デメリット)
高反発	<ul style="list-style-type: none"> ・通気性に優れている ・適度な硬さで体が沈みこまない →寝返りがしやすい →介護する人にとって、被介護者の体を起こしやすく、着替えもさせやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・失禁時、ベッドを通過して下まで濡れてしまう
低反発	<ul style="list-style-type: none"> ・体圧を分散させるため、褥瘡(じょくそう)予防になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・通気性が悪く、熱がこもって蒸れやすい ・腰や肩が沈みやすく、寝返りがしにくい ・温度によって硬さが変化するため、夏は柔らかく冬は硬くなる

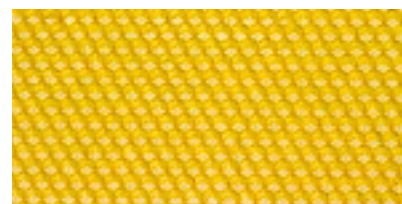
3. ゴム製のハニカム構造 クッション

クッションは施設でも在宅でも需要があります。ベッドからの離床を促すためには長時間の座位を保つ必要があり、そのためにも被介護者にあつたクッションを選ぶことが大切です。素材はスポンジや低反発、エア、ジェルなど様々ですが、それぞれメリット・デメリットがあります。

- 【スポンジや低反発クッション】通気性はあるが、失禁時の対応が困難
 【エアークッション】表面がビニール製のため、失禁時の対応は比較的簡単だが、通気性が悪い
 【ジェルクッション】失禁時の対応は比較的簡単だが、通気性が悪く、熱がこもりやすい

これらの課題を改善するため、様々な改良が施されています。部分ごとに適した素材を使用し取り外し可能なものや、クッションカバーに防水機能と通気機能を持たせたもの、3次元スプリング構造^{※1}のものなどがあります。

その中でもゴム製のハニカム構造^{※2}クッションは、洗濯が可能で、通気性に優れているため熱が逃げやすく、長時間座っていても体への負担が少ないのが特長です。数年前からすでに商品化されていますが、毎年、国際福祉機器展に出展され注目を浴びています。



【ハニカム構造】

- ※1 **3次元スプリング構造**…繊維と線維の間に一定のすき間をもうけた立体的な構造
 ※2 **ハニカム構造**…正六角形または正六角柱を隙間なく並べた「蜂の巣」のような構造

4. おむつ商品

(A) PH 値をコントロールする素材を使用したおむつ

PH 値が上昇しアルカリ性に傾いてしまうのを抑えるパルプ素材を使用したおむつ。尿はアルカリ性で、肌は弱酸性のため、尿が肌につくとPH 値がアルカリ性になり、お尻のただれや雑菌の繁殖の原因につながります。さらに、おむつを開けた時に空気に触れると、肌が弱酸性に戻ろうとし、その時にかゆみが生じます。

(B) お茶がら入りおむつ

お茶がらを配合した茶香紙を使い、消臭効果を持たせたおむつ。お茶に含まれるポリフェノールが、におい成分と結合して中和・吸収させる働きがあるとされています。

■ちょっと気になる最新の介護機器

1. 洗髪ロボット

仰向けになり機械の上に頭を乗せるだけで、シャンプーからすすぎまで自動で髪の毛を洗ってくれるロボット。パナソニックのロボット事業が開発し、早ければ2012年に商品化の予定。

センサーが頭の形を読み取り、様々な形の頭に対して最適な力加減で頭全体をマッサージしながら洗浄作業を行います。マッサージメニューなど個人データを登録する機能もついており、毎日の使用も簡単な指示で可能。介護施設や病院のスタッフの負担軽減につながることを期待されます。



【洗髪ロボット】(パナソニック株式会社)

2. 介護ロボットスーツ

介護の負担を減らすことを目的に様々なロボットスーツの開発が進められています。介護者の体にロボットパーツのようなものを付け、被介護者の重い体も負担なく持ち上げることができます。

神奈川工科大学が開発したパワーアシストスーツは空気圧を利用し、肩から足まで全身に装着することでスーツ自体の重量が装着者の足にかからないのが特徴です。主な機構は背面に配置され、介護者と被介護者のスキンシップを妨げないような設計になっています。また、万が一電源が落ちてしまった場合の安全設計も考慮されています。

上記以外にも、「家事を行うロボット」、「安否確認を行うロボット」、「癒しを提供するロボット」など、様々な用途でロボット活用の期待が高まっています。経済産業省所管の「新エネルギー・産業技術総合開発機構」(NEDO)では、介護分野を含む生活支援ロボットの早期実用化に向け、安全性についての検証に取り組み、国際標準化を目指してプロジェクトを進めているようです。



【ウェアラブル
パワーアシストスーツ】
(神奈川工科大学)

■ニッソーネット「ほっと倶楽部」講師 佐藤 康広(さとう やすひろ)

「介護は頑張っただけじゃありません」

介護を頑張り過ぎると介護をする側の負担が大きくなり、介護される側と共に疲弊してしまいます。介護は頑張っただけじゃありません。ではどうすればよいのでしょうか？

実はちょっとしたコツで介護が楽になります。その一つとして福祉用具があるのです。介護と上手に付き合うために、うまく福祉用具を活用することをお勧めします。

介護支援専門員、介護福祉士、(財)生涯学習開発財団 認定コーチ、
ライト・けあ代表、介護ファシリテーター、
介護を小学生のなりたい職業 NO.1 に！プロジェクト 実行委員長

2009 年よりニッソーネットの講師として、社会福祉制度、職業倫理、コミュニケーション技法、介護実技など多数の科目を受け持ち、年間 600 人以上の受講生を指導。

介護現場で働く人をサポートするだけでなく、介護職として働く喜びを子どもたちに伝えることを目的とした「介護を小学生のなりたい職業 NO.1 に！プロジェクト」を立ち上げ、小学校や児童館に出向き、介護の魅力を伝える紙芝居や介護体験も行っている。



【会社概要】

介護職を中心とした福祉業界への人材サービスや、シニア人材サービスを行うほか、ホームヘルパーや介護福祉士などの資格講座を実施する「ほっと倶楽部」も運営。スタッフの資格取得から就業までをトータルにサポートし、高齢者福祉施設を中心に安定した人材の供給を図っています。

社 名：株式会社ニッソーネット

代 表 者：代表取締役社長 山下 謹吾、代表取締役専務 山下 吾一

設 立：1999 年 9 月

U R L：<http://www.nissonet.co.jp/>

資 本 金：1,000 万円

売 上 高：23 億(2010 年 1 月期)

従 業 員 数：85 名(2010 年 4 月現在)

本 社 所 在 地：大阪市北区芝田 1-4-14 芝田町ビル 2F TEL:06-6375-2111(代) FAX:06-6375-1717

支 社：南大阪支社、神戸支社、東京支社、横浜支社、さいたま支社

【「介護教室ほっと倶楽部」の取組みと実績】

「ほっと倶楽部」では、様々な資格講座やセミナーを開催し、介護の人材育成を行っています。

- 資格講座：ホームヘルパー2 級講座、介護職員基礎研修、介護福祉士、ケアマネジャー対策講座など
- 介護セミナー：認知症の方への対応、リスクマネジメントなど

介護スタッフとして働きながら資格を取得できる、ニッソーネットの「資格取得支援制度」により、毎年 1,000 名以上の新人介護スタッフを育成し、高齢者福祉施設を中心に派遣・紹介しています。

<本件に関するお問合せ>

株式会社ニッソーネット 広報担当 大西 TEL: 0120-518-739 E-mail: onishi@nissonet.co.jp

※取材のご依頼、情報提供のご協力も随時承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。